

別記第1号様式(第7関係)

# 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		池袋副都心整備ガイドプラン検討委員会（第三回）
事務局（担当課）		豊島区 都市整備部 都市計画課
開催日時		平成21年3月5日（木）午後6時00分～8時00分
開催場所		豊島区民センター 4階 第2会議室
議 題		1) 第2回検討委員会での主な意見と対応策 2) 池袋副都心整備ガイドプラン（素案） 3) チャレンジを支える方策
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	岸井隆幸（委員長）、北川フラム、蟹江憲史、島村美由紀、国土交通省都市・地域整備局 街路交通施設課 街路事業調整官、東京都都市整備局 都市づくり政策部 開発プロジェクト推進室長、豊島区副区長、豊島区都市整備部長
	幹 事	豊島区都市整備部都市計画課長、都市開発課長、都市再生プロジェクト担当課長
	事 務 局	豊島区 都市整備部 都市計画課 独立行政法人都市再生機構 東京都心支社業務第5ユニット事業企画チーム

## ■ 議 事

### 【事務局（都市計画課長）】

（資料2、資料3、資料4、参考資料の説明）

### 【委員長】

- ・ 資料4のチャレンジを支える方策はガイドプラン（素案）に含まれるのか確認したい。

### 【事務局（都市計画課長）】

- ・ ガイドプラン（素案）の中に入れる予定である。

### 【委員長】

- ・ ガイドプラン（素案）の段階実現プログラムの中で、具体的に決まっているものは何か。

### 【事務局（都市計画課長）】

- ・ 中期で、新庁舎の計画、現庁舎が移転した跡地の再編、造幣局敷地について整理を行っている。
- ・ 池袋駅の再生については、短期で地下空間のバリアフリー化、中期で東西デッキ整備を整理している。西口地区の再開発については長期的なものと捉えている。
- ・ グリーン大通り歩道拡幅は長期的な話だが、道路空間の弾力的利用は短期で考えている。
- ・ 地域冷暖房や清掃工場の余熱利用については、各施策と並行して検討していきたい。
- ・ LRT 実現については、歩行者を中心とした交通体系の整備として中期以降で整理しており、来年度からの調査をふまえて検討する。

### 【委員長】

- ・ エリア別のまちづくりの方針で歩行者回遊ネットワークが面的に表現されているが、高速道路の下やグリーン大通りなどはメリハリをつけた方がよいのではないかと。現庁舎敷地は開発でより良い歩行者ネットワークができるのではないかと。サンシャイン60通りをメインにして車両の多い道路と交差させないなど整理が必要。

### 【事務局（都市計画課長）】

- ・ サンシャイン60通りから面的に広がる南北方向のつながりを強めたいと考えている。

### 【A 委員】

- ・ 歩行者回遊ネットワークについて既に整備済みのものは、既存と明記した方が良い。
- ・ グリーン大通りの写真で樹木を合成しているのであれば、明記した方が良い。

### 【B 委員】

- ・ 東西デッキネットワークの整備イメージはFIXなのか？

### 【幹事（都市開発課長）】

- ・ 平成2年に検討し、JR にオーソライズもらった上で豊島区の刊行物に掲載している南側デッキのパスである。

### 【C 委員】

- ・ 参考資料に載っている写真は、ワールドカップにあわせて袋井市にサッカースタジアムを建設した際、駅から長い距離の通りができたので、ワールドカップにちなんだアートを道際に置いたもの。
- ・ グリーン大通りは通行だけではなく交流の場として活用できないか。屋台や売店を出せる、蚤市ができるといった場所としたい。「道庭」として通行だけではないたまり空間や陰影のあるパサージュをつくりたい。

**【幹事（都市開発課長）】**

- ・ グリーン大通りは区道なので、整備に関する協議先は警視庁と東京都（明治通りと接続しているため）である。スムーズにいけば平成23、24年頃に実現できるが、最終形を見据えてどのように段階整備ができるか検討が必要である。

**【委員長】**

- ・ 行政による整備の部分だけでなく、どのように民間等のエネルギーを引き出すかが課題。段階整備なエリアマネジメントは難しいか？

**【事務局（都市計画課長）】**

- ・ 意見をもらえる地域団体はいるが民間として先頭に立つ企業がないので、まずは区が主導せざるを得ないと思っている。

**【C 委員】**

- ・ グリーン大通りは、日本にはない趣味の交換市のような空間とするために、まずは社会実験として導入をすればよいのではないか。ハードを誘導するための社会実験である。
- ・ 横浜では鉄道高架下の古い歓楽街の建物を若い人たちがまちおこしに活用したり、森ビルが進出するにあたって既存ビルをアーティストに2年間低い賃料で貸し出し、社会実験的にアートの展示を行っている。バルセロナでは倉庫街でバザールを行い、その後ホテルに再編している。東京都もオリンピックに向けてやっているところである。

**【委員長】**

- ・ 社会実験を行って評価が高まると、弾力的な運用にはずみがつく。公園も都市広場とすれば、活用に幅が出てくる。

**【D 委員】**

- ・ 横浜は都市デザイン室が、建物のつくり方、店舗の顔の出し方、業種業態まで踏み込んでいる。公共空間と民地をセットで規制するとつくりこみが変わってくる。

**【E 委員】**

- ・ ガイドプラン（素案）は資料としてわかりやすく、整理されてきた。
- ・ 池袋のチャレンジで重要なのは歩いて楽しめるまちだということ。池袋のように歩行圏内で活動ができるまちは少ないのではないか。行政側のガイドプランだけでなく、既存の道路・敷地を使うなど知恵を出し合う必要がある。実際にそこで商売をしている人にとっては搬出入の車動線が必要であるため、昼は歩行者専用・夜は車開放などの整理も必要。

**【D 委員】**

- ・ 六本木ヒルズのようにビルの中にまちをつくるのではなく、まちに人が流れてくるようにつくりこみにしたい。

**【C 委員】**

- ・ 昨今の価値観では、最新のものに最短で到達することを「よし」としている。しかし、おもしろいものに到達するには、体を使って行くという方向へ舵取りをしないとけない。

**【D 委員】**

- ・ 行政側の価値観は違うだろう。小さなおもしろいものをまちづくりのネタとして、スーパーブロックにしないまちづくりを考えている。

**【E 委員】**

- ・ 池袋駅からサンシャインまで15分のところを1時間かけて楽しんで歩くような仕掛けや空間づくりを行うと、賑やかさが出てくるだろう。

**【D 委員】**

- ・ トキワ荘のイメージをどう残していくか、界索性の担保が難しい。

**【委員長】**

- ・ アクションとしてすべきことについて色々アイデアをいただいた。絵にかいたレポートだけでなく、現実のものにすることが求められているので実際にアクションをおこなっていくことが重要。

**【B 委員】**

- ・ 地図に線を引いても、通りをただ整備しても回遊は生まれないので、おもしろいものをどのように散りばめて、目的地に何をおいていくかがポイント。サンシャイン60通りが賑やかなのは目的地としてサンシャインシティがあるからである。
- ・ 商業の観点から、池袋のデパートは元気がないので賃料があがらず、零細商業やビギナーが進出しやすいという点がある。

**【委員長】**

- ・ アクションをおこさないと形だけつくっても駄目。そういうニュアンスをチャレンジの仕組みに入れ込めないか。

**【D 委員】**

- ・ 東西自由通路について、長期的に考えて望ましい形を引き続き検討ほしい。長い目で見たときに資産となる。

**【幹事（都市開発課長）】**

- ・ 建替え時につなぐなど、中央部分のデッキも含めて検討している。

**【委員長】**

- ・ チャレンジスポットをグリーン大通りの一部や公園などに置いても良いだろう。

**【事務局（都市計画課長）】**

- ・ チャレンジの仕組みやチャレンジを支える方策に書き込みを加える。長期的な展望を忘れずに、できるところからアクションを強く打ち出すようつくりこむ。

**【D 委員】**

- ・ チャレンジを支える方策には景観協定がなじむのではないか。

**【A 委員】**

- ・ チャレンジを支える方策の環境への取り組みの行政・民間の区別はいらぬのではないか。新エネルギーや太陽光発電、壁面緑化など想定されるものは全て描いたほうが良いのではないか。

**【委員長】**

- ・ 本日で委員会は終わるので、お気づきの点は事務局へ伝えてほしい。

**【幹事（都市開発課長）】**

（3 / 1 4 駅周辺整備検討についてのシンポジウムちらし配布）

- ・ シンポジウムの前段で豊島区より池袋の将来像を説明する。

**【事務局（都市計画課長）】**

- ・ 本委員会を終了とする。本日の意見をふまえて修正した内容を各委員に個別に相談させていただき、まとめる。平成21年度は広く区民や事業者へ使ってもらうために、パブリックコメントやチャレンジサイクルの段階に入っていく。

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

会議の結果	—
提出された資料等	資料1 第2回池袋副都心整備ガイドプラン検討委員会会議録(案) 資料2 第2回池袋副都心整備ガイドプラン検討委員会での主な意見と対応 資料3 池袋副都心整備ガイドプラン(素案) 資料4 チャレンジの実現に向けた方策 参考資料 道路空間の弾力的な活用について
その他	—